

【概要】

「病い」は生物医学的に決定されるだけでなく、人が生きる社会や文化のあり方とも深く結びついた現象である。この授業では、現代社会において増加している「拒食症」、心の性と身体の性が一致しない性同一性障害などを含む「LGBTQ」、これら「食」と「性」という人間の基本的営みに関わる二つの問題についてとりあげ、病いを社会や文化の文脈において捉える医療人類学の視点から考察する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による